

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

| | | | |
|-----------|------|-----------|------|
| (H.27)No. | 1276 | (H.26)No. | 1276 |
|-----------|------|-----------|------|

| | | | |
|-------|---------|-------|--|
| 事務事業名 | 家庭的保育事業 | | |
| 担当部局名 | 担当室名 | 室長名 | |
| 子ども部 | 保育幼稚園室 | 山岡 尚子 | |

| | | |
|---------|---------------|--------|
| 会計区分 | 事業コード | 197201 |
| 一般会計 | (中事業名)※予算書事業名 | |
| 款 民生費 | 地域型保育事業 | |
| 項 児童福祉費 | (小事業名) | |
| 目 保育所費 | 家庭的保育事業 | |

1. 事務事業の位置付け

| | | | |
|---------|-------------------------------|---|-------------------------|
| 総合計画 | 政策 | 1 | 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし |
| | 基本政策 | 5 | 自立を支える地域福祉の充実 |
| | 施策 | 3 | 子育て・子ども支援 |
| | 小施策 | 3 | 地域における子育て支援の充実 |
| 重点施策コード | 3-4.子ども3人目プロジェクトの推進(待機児童ゼロ作戦) | | |

2. 事務事業の概要

| |
|---|
| 事業目的(めざす効果) |
| 保育所における待機児童の問題が深刻化する中、保育所等から技術的支援を受けながら、保育士の居宅等において少人数の乳幼児の保育を実施することにより、保育サービスの供給量を増やすとともに、地域の実情に応じた多様な保育サービスを提供する。 |
| 事業内容 |
| 保育士の居宅等において、保育所に入所できない乳幼児の保育を実施する家庭的保育者に対して委託費の支弁等を行う。 |

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

| | H.26年度(事業量・取組実績) | H.27年度(事業量・取組計画) |
|------------|---|---|
| 主な事業の実績・計画 | 保育所新設には多大な費用・時間を要することから、保育士の居宅等で保育を行う「家庭的保育事業」を県下で初めて実施。 家庭的保育者 3人 補助者 3人 家庭的保育支援者 1人 委託児童数 15人 | 平成27年度は2室新設予定。 家庭的保育者 5人 補助者 5人 家庭的保育支援者 1人 委託児童数 25人 |

| H.28年度(事業計画) | H.29年度(事業計画) | H.30年度(事業計画) |
|---|---|---|
| 家庭的保育者 6人 補助者 6人 家庭的保育支援者 1人 委託児童数 30人 | 家庭的保育者 6人 補助者 6人 家庭的保育支援者 1人 委託児童数 30人 | 家庭的保育者 6人 補助者 6人 家庭的保育支援者 1人 委託児童数 30人 |

| | H.26年度(決算見込) | H.27年度(作成時予算額) | H.28年度(計画予算) | H.29年度(計画予算) | H.30年度(計画予算) |
|-----------|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| ①直接事業費 | 17,805千円 | 38,903千円 | 37,381千円 | 39,698千円 | 39,698千円 |
| 内訳(千円) | | | | | |
| 国・県支出金 | 8,308 | 35,953 | 21,479 | 22,850 | 22,850 |
| 地方債 | | | | | |
| その他(諸収入等) | 3,601 | 2,926 | 6,968 | 7,488 | 7,488 |
| 一般財源 | (0) | 24 | 8,934 | 9,360 | 9,360 |
| 人工数 | | | | | |
| 職員 | 0.24人 | 0.30人 | 0.30人 | 0.30人 | 0.30人 |
| 臨時職員等 | 0.61人 | 0.61人 | 0.61人 | 0.61人 | 0.61人 |
| ②概算人件費 | (0千円) 2,837千円 | 3,287千円 | 3,287千円 | 3,287千円 | 3,287千円 |
| ①+②総事業費 | (0千円) 20,642千円 | 42,190千円 | 40,668千円 | 42,985千円 | 42,985千円 |

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

| | |
|---|---|
| 考察(H.26年度の取組評価、課題) | 今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容) |
| 育児休業明け等による途中入所の児童を15人(実人数)受け入れた。待機児童が増加し、認可保育所への途中入所が困難な状況の中、保育サービスの供給量を早急に増やすことができ、保育ニーズに対応することができた。 | 未だ待機児童は増加しており、十分な保育サービスを供給できていない状況であり、待機児童解消のため、ニーズ量に応じた、家庭的保育者を増加するなど適切な保育サービスを実施していく。 |

| 点検項目 | 内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容) |
|--|---|
| (1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献) | 育児休業明け等の年度途中の入所希望者の保育を実施することにより、女性の社会参加を促進し、子どもを安心して産み、育てることができる取組として大いに貢献している。 |
| (2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない | |

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

| | |
|--|------------------------------------|
| 【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む) | 継続(拡大) |
| 具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 | 6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ぱりっ子すくすく計画 |
| ニーズ量を見極めながら適正な規模で事業を実施していく。 | |